

落ち葉であそぼう！

■プログラムの概要

ねらい	親子での自然観察、葉っぱの違い（形・大きさ・色）を遊びながら観察し身近な自然に興味を持ち、落ち葉遊びに親しむ。		
キーワード	身近な自然		
対象	乳幼児親子		
時間	45分	実施場所	児童館の庭またはホール
使用するもの	落ち葉、ビニールプール、落ち葉を落とすための仕掛け（段ボール、バケツ、ざるなど）、ロープ、画用紙、セロハンテープ、のり、クレヨン、ブルーシート		
全体の流れ	<p>【事前準備】 あらかじめ、親子で近隣の公園で落ち葉やどんぐりを拾ってくる。イチョウやカエデ、桜や柿など色のついた落ち葉やどんぐりなど。児童館でも大量の落ち葉をストックしておく。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 集めた落ち葉を使い、落ち葉プール・落ち葉の絨毯・落ち葉の吹雪などの準備をする。 ※各児童館の状況に応じたものを選び実施するとよい。2. 落ち葉プール・落ち葉の絨毯・落ち葉の吹雪など実施するもので遊ぶ。3. 落ち葉を利用して、お面や冠、落ち葉アートを作成する。4. 発表・ふりかえり 作品や気に入った落ち葉の発表や保護者が感じたことなどの共有。		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
当日までに	<p>＜親子で葉っぱ集め＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パパにも協力してもらう。 ・葉っぱの大きさ、形、色、など違いがある葉っぱを集める。 ・イチョウの葉は大量に。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数種類の葉っぱを集める。 ・色付きの良いもの。 ・ある程度の大きさのもの。 ・子どもの手の大きさ以上が目安。
10分	<p>各児童館の状況に応じて、できるものを選んで実施する。</p> <p>＜落ち葉プール＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体で落ち葉の感触を楽しむ。 ・プールの中で泳いだり潜ったりする。 <p>＜落ち葉の絨毯＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉を踏んだり、手に取ってみて感触を楽しむ。 <p>＜落ち葉の吹雪＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段ボール箱やバケツなどに落ち葉を入れてロープで吊るし、高いところから落ち葉を降らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉の中に異物（人工物や小石など）が入っていないことを確認する。 ・口に入れないように注意する。 ・落ち葉の吹雪は、上を向くので足元に注意をする。 ・落ち葉の吹雪は、ロープで吊るす仕掛けが困難な場合には、バケツなどを大人が持ち、上から降らせてもよい。
15分	<p>＜落ち葉アート＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな落ち葉を拾う。 ・落ち葉の冠づくり、お面作り。 ・色分けグラデーションを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で好きな落ち葉アートを楽しむ。 ・強制はしないで自由に作る。 ・時間に余裕のある親子は複数種類の制作も可とする。 ・集めたどんぐりも飾りとして使用。 ・共同制作ができれば挑戦する。
10分	<p>＜発表・ふりかえり＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉アートの発表や、色や形、大きさの気に入った落ち葉を披露する。 ・親子で楽しめたのか尋ねて、感想を言ってもらおう。 ・今日の活動で、保護者が感じたことや子ども様子を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりを重視する。 ・親子での自然観察 葉っぱの違い（形・大きさ・色）を遊びながら観察し身近な自然に興味を持ち、落ち葉遊びに親子で親しんでもらおう。

■使用するもの

物 品 名	数 量	備 考
落ち葉	必要量	参加者に事前に拾ってきてもらう。児童館でもストックを用意しておく。
ビニールプール	大1～2個	落ち葉プール用、集めた落ち葉を入れる
ロープ	必要数	落ち葉の吹雪用 落ち葉を上から落とす仕掛け
段ボール・バケツ・ざるなど		
画用紙	必要数	落ち葉アート用
のり		
セロハンテープ		
クレヨン		
ブルーシート	1～2枚	部屋で実施する際の床の汚れ防止のため

■実施にあたって留意する点

- ・親子で落ち葉を拾ってくる活動も、このプログラムのねらいの感性を揺さぶる活動のため、事前に落ち葉を拾ってきてほしい旨を知らせておけるとよい。
- ・落ち葉を拾ってこなかったり、日経ちすぎて葉がカサカサになったりすることが予想されるので、職員側で用意する落ち葉の冠や落ち葉アート用の葉は、なるべく新しいものとする。
- ・落ち葉プールなどは、各児童館の状況に応じて、できるものを選択して実施するとよい。
- ・庭の無い児童館ではホールで実施し、ブルーシートを敷いてビニールプールを置くとよい。
- ・葉っぱが細かくなると目に入りやすくなるので注意する。
- ・共同で制作した作品を飾り一日だけのイベントに終わらせない。